

ふくさき



柳田國男生家



祝 二十歳

1月8日、エルデホールにおいて「令和5年度福崎町二十歳のつどい」が開催されました。166人の出席者と来賓の方々により厳肅な式典と和やかなアトラクションが行われました。

本年度は、12人の実行委員が、アトラクションから記念撮影にいたるまで、企画立案等を行いました。

式典は、「和楽」の皆さんによる和太鼓の演奏を皮切りに、町長式辞、記念品贈呈（牛尾剛さん代表受領）、来賓祝辞と進み、釣孝広さんが二十歳の誓いを述べられました。式典の最後には、二十歳のつどい出席者（木村留華さん）から家族への感謝の手紙、家族から二十歳のつどい出席者への励ましの手紙がそれぞれ読まれました。普段なかなか口にできない家族への感謝、愛情のこもった励ましの手紙に会場全体が感動に包まれました。
（社会教育課）



選挙管理委員会委員長から記念品を贈呈

二十歳の誓い



（前略）

本日は成人の日を迎える私達にこのような素晴らしい式典を開催して頂きありがとうございます。町長様、教育長様をはじめご来賓の方々からの温かいお言葉を頂きましたこと、二十歳のつど

い一同を代表し御礼申し上げます。

私たちは今日めでたく成人の日を迎えることができました。成人とは成熟した人間を指す言葉ですが、人とはなにか考えた時、ある先生がおっしゃった、「人と言う字は人と人が支え合って出来ている。」という言葉思い出します。

この20年を振り返って見ると、今までは人という字の支えてもらっている方だったように思います。しかし、今日からは晴れて大人の仲間入りをします。支えて貰うだけでなく、支えてあげられるような立派な大人になれるよう日々精進してまいりますことを約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

令和6年1月8日

二十歳のつどい代表 釣 孝広



アトラクション（お楽しみ抽選会）のようす

二十歳のつどい実行委員会

（順不同・敬称略）

委員長	木村留華	古河なつみ
副委員長	柴田峻吾	難波歩真
委員	高松希旭	築山栞奈
	播磨啓太	藤原伊珠
	谷口絢香	遠山礼人
	釣 孝広	
	牛尾 剛	



行事予定 (2月17日～3月6日)

月	日	曜日	時間	行事
2	17	土	11:00	おはなし会
2	24	土	14:00	子ども映画会「おしりたんてい プッあやうしたんていじむしょ後編」
3	6	水	11:00	えほんのじかん

☆ 3月7日資料整理のため休館

新 着 図 書

八千種研修センター 図書室

☎22-1564

一般書10冊

「少女が最後に見た蛍」 天祢 涼
「清算」 伊岡 瞬



“こころ豊かなふくさき”を願って

“広げようフラワーボランティアの輪”

福崎町内の花壇などのお世話をしているボランティアの活動予定 (2/19～3/19) をお知らせします。ぜひボランティア活動にご参加ください。

みどりのグループ

3月6日(水) 9:00～ 七種川沿い新町花壇

問い合わせ先 文化センター ☎22-3755

(コミュニティ推進専門員)

令和6年能登半島地震
兵庫県義援金 募集

受付期間 4月30日(火)まで

募金箱設置場所 役場、文化センター、
図書館、八千種研修センター

1月1日に発生した石川県能登半島を震源とする地震により、甚大な被害が発生しています。これを受けて「能登半島地震兵庫県義援金」の募金箱を設置しています。集まった義援金は、能登半島地震兵庫県義援金募集委員会を通じて被災者支援等に充てられます。(総務課)

入館無料 三木家住宅 「雛人形展」



三木家住宅で、雛人形を飾る春の催しを開催します。ぜひお越しください。(社会教育課)

会期 2月10日(土)～3月24日(日)

※開館は、土曜日・日曜日・祝日のみ。

開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

場 所 三木家住宅 (西田原1106番地)

文化センター行事予定 (2/15～3/14)

老人大学専門講座	2月15日(木)	2月22日(木)	2月29日(木)	3月5日(火)
園芸部				閉講式 10:00～
史学部	10:00～12:00			
舞踊部				
陶芸部 (①班、②班)	① 9:00～12:00 ② 12:00～15:00	② 9:00～12:00 ① 12:00～15:00	① 9:00～12:00 ② 12:00～15:00	
健康科学部	10:00～12:00			
上記以外の神崎学園	10:00～12:00			
上記以外の福寿学園				

老人大学一般教養講座 (公開講座)

日時・場所 2月15日(木) 13:20～15:00・文化センター

演題・講師 「遺伝のはなし」・国立大学法人兵庫教育大学社会連携センター 笠原 恵さん

※この公開講座は、どなたでも聴講していただけます。どうぞ、お越しください。



満百歳！ おめでとうございます



1月2日に満百歳を迎えられました。

お祝いに集まった人たちの笑顔を見て「みんなにお祝いしてもらえるなんて、こんなに嬉しいことはないです」と涙ぐみながら喜んでくださいます。

尾上信子さん（西大賞）した。

今後もますますお健やかに、さらなるご長寿をお祈りします。なお、百歳をお祝いして、百歳の森記念碑にお名前を刻みました。（福祉課）

野外センターだより



山小屋の掘りごたつ をご利用ください



野外センターの山小屋に掘りごたつを設置しています。

冬の七種山、野外センターは、いつもとちがった景色をみ

せてくれます。

野外センターでの活動、なぐさの森での散策、文化財・名勝巡りの際には、山小屋の掘りごたつで、ほっこりおくらしてください。

（社会教育課）

ガジロウ 絵コンテスト

応募作品の展示

ガジロウ誕生10周年を記念して令和5年9月25日から令和6年1月9日までガジロウの絵を募集したところ、町内をはじめ全国（北海道から沖縄まで）及び海外（アメリカ合衆国・台湾）からも計302点の応募がありました。厳正に審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞6点及び観光協会特別賞5点を選定しました。

なお、応募いただいた全ての作品を2月14日（水）から2月29日（木）まで辻川観光交流センターで展示しますので、ぜひご来館ください。（地域振興課）

最優秀賞



「ガジロウ現る!!」
高橋俊司さん

優秀賞



「10年」 安藤友紀さん

優秀賞



「1人じゃないよ」
火置由美子さん

入賞6点



「河童の夏休み」
高木耕司さん



「がじろウの夏
いっしょにのもう!!」
松岡信孝さん

「人と町に
共生する妖怪」
藤村武則さん



「ビバ!
ガジロウ様と
福崎道中」
島田碧依さん

「あの日一緒に写真を
撮ってくれてありがとう」
金井文香さん



「Lucky me for
finding you」
藤澤和範さん

能登半島地震について

福崎町長 尾崎吉晴

石川県能登半島で大地震が発生したというニュースが元日午後4時過ぎに飛び込んできました。火災・津波の発生、住宅の倒壊、道路の損壊、土砂崩れな



出初式にて

ど、被害の詳細が分かってくるにつれ、地震の怖さをまざまざと見せつけられています。

現在、多くの方々が避難所に身を寄せ、不自由な暮らしを余儀なくされていますが、何とかこの事態を乗り越えてほしいと願っています。地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

また、この厳冬期に救出活動・救援活動に従事してください。いろいろな消防、警察、自衛隊、自治体等職員の皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。どうか

自身の安全を守りながら、一人でも多くの人の命を救ってほしいと願うものです。

兵庫県は、カウンターパート方式（人員や物資を効率的に送るため各府県等がそれぞれ特定の自治体の支援を受け持つ方式）で石川県珠洲市を支援することに決まりました。福崎町もできる限りの支援をしてまいります。日本はつくづく地震大国だと思えます。さらに、台風や水害も毎年発生します。各自で

できる備えはしっかりとお願いいたします。町も、町民の安全・安心を守ることを最大の責務として取り組みます。

ガジロウ誕生10周年記念イベント 開催



河童のガジロウが辻川山公園の池で発見されてから、2月14日でちょうど10年を迎えます。

その間、ほぼ休みなしに毎日毎日池から出没し、たまに池から出て町内を徘徊したり、福崎町をPRするために出張して、福崎町の知名度向上に大いに貢献してくれました。感謝をこめて、誕生10周年記念イベントを開催します。

当日は、福崎町ふるさと大使のアルミカン赤阪さんや相方の高橋さんもお祝いに駆けつけてくれます。皆様も一緒にお祝いしてください。

実施日時 2月14日(水) 13:00~13:30頃

実施場所 辻川観光交流センター

臨時開館!!

イベント内容

- ・ガジロウの絵コンテスト表彰式&展示
- ・「ガジロウのあゆみ」放映
- ・漫画「ガジロウさん物語」発売予告
- ・新妖怪ベンチガチャピー 1個プレゼント (先着50名)
- ・河童のガジロウとの記念撮影など

問い合わせ先 地域振興課 (内線392)

春の新生活ひょうご家計応援キャンペーン「はばタンPay+」第3弾!!

ペイ プラス



第3弾 実施決定

	プレミアム率	購入限度
一般枠	25% (1口6,250円を 5,000円で販売)	1人あたり 4口

物価高騰が継続する中、1年のうちでも出費がかさむ春の新生活準備期間に合わせて、スーパーやコンビニ、商店街等の小売店、飲食店などで幅広く使えるスマホアプリ「はばタンPay+」を活用した家計応援キャンペーンの第3弾を実施します。

応募期間 2月1日(木)~25日(日) 20:00まで

販売期間 3月11日(月)~4月30日(火)

利用期間 3月11日(月)~6月30日(日)

※県議会の議決が得られたのちに、利用期間等は決定します。

問い合わせ先 ひょうご家計応援キャンペーンプレミアム付デジタル券「はばタンPay+」事務局

専用コールセンター ☎050-2018-3367 特設サイト <https://habatan-pay-plus.com/>



※申込みにはスマホが必要です。
※応募多数の場合は抽選となります。



学び続ける

福岡東中学校1年
西田祥齊

八月六日は何の日でしょうか。八月十七日は何の日でしょうか。八月六日は、広島市に原子爆弾が落とされた日です。八月十七日は、阪神淡路大震災が起こった日です。どちらも忘れてはいけない日だと思います。ぼくは小学二年生まで、広島市に住んでいました。三年生になる時に、兵庫県に引っ越してきました。広島は、八月六日は平和について考える日ということで、登校日になっていました。平和記念式典をテレビで観てから、平和学習の時間がありました。その日以外にも、広島市について、原爆について、そして平和について、見たり聞いたり、考えたりするさまざまな機会がありました。けれど、兵庫へ来てからはそれがありません。八月六日にテレビでニュースを見ることは

あっても、学校で勉強することはありませんでした。反対に、兵庫では一月十七日に地震を想定した避難訓練があります。広島はありませんでした。あつてはならないことが起こった地域ではそれを忘れないように特別な取り組みを行っています。他の地域ではあまり行っていないのだと、初めて思いました。そして、三月十一日の東日本大震災は、今でもニュースでは見るけれど、兵庫でも広島でも特別な勉強はしていないなと思いました。

戦争も災害も忘れてはいけないことだと思います。けれど、どうやって忘れないようにするのか、とても難しいことだと思います。ニュースで知ったことですが、広島は小学生に原爆が落とされた日時を聞く調査では、正答率が低くなってきたというそうです。ぼくも「八月六日」とすぐに答えられますが、「一九四五年八月六日午前八時十五分」と正しく言えなかったり、長崎に原爆が落とされた日時と混ぜてしまっていたりして、忘れてきているなと思うことがあります。小学四年生のときに、兵庫県について勉強をしました。昨年、四年生だった弟の社会のテストには、阪神淡路大震災の日時を問う問題がありました。日時を覚えて、亡くなった人たちを供

養したり、当時のことを振り返ったりすることは大切なことだと思います。けれど、それだけでは足りないなとも思います。忘れないようにするだけではなくて、今や未来の生活につながる努力をしていくことが大切だと思います。

ぼくの父は兵庫県出身ですが、阪神淡路大震災の被災者ではありません。震災の記憶は、テレビや新聞で見た衝撃的な映像や写真によるものがほとんどです。衝撃は忘れないためのきっかけになると思います。ぼくも原爆ドームに行った時のことや、原爆資料館で見たものは、小さい頃のことですがよく覚えています。八月六日の平和記念公園には独特の雰囲気があり、誰もが平和を願っているのだと思いました。

直接見たり聞いたりしたこと覚えやすく忘れにくいです。だからこそ経験が重要になってくると思います。平和学習でも被爆された方のお話を直接聞くことがあります。生の声は感じるものが違います。テレビの特集でもよく取り上げられます。けれど、その方たちは亡くなっています。若い人たちが伝えていけばよいと思うかもしれませんが、簡単なことではありません。

ぼくは学び続けることが必要だと思っています。勉強も一回した

だけで、その後何もせずにいると、忘れやすいです。だから繰り返し問題を解きます。これと一緒にです。忘れないために学び続ける。これこそが一番大切だと思います。できるだけ直接見たり聞いたり、実際の声を聞くことを意識しながら学び続けられれば、悲劇を繰り返さない行動をとることにつながると思います。

人権標語

ほほえみで 心の中に
虹をかけよう

福岡小学校6年
二宮 遥

「ごめんさい」
言える勇氣と 許せる心

田原小学校6年
埴岡真佳

友だちと につこりわらうと
しあわせです

高岡小学校2年
杉本 一

気付いてる？ 笑顔の裏に
隠れる涙

福岡東中学校1年
大島梨乃彩



福岡小学校1年 森下将瑛



八千種小学校1年 玉置晴哉



田原小学校1年 日和拓真